

教科	美術	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション 学びの美感和ががり 多彩な表現に挑むのは なぜだろう 学びの言葉 岡本太郎 あなたの美を見つけて	1	○写真作品を見ながら、どんなところに美しさを感じ取っているのか、どんなところに共感できるかなどと問い掛けて鑑賞させて、身の回りにたくさんの美しいものがあることに気付かせたい。 ○「岡本太郎」芸術はみんなのもの」と関連させて生徒へメッセージを贈り、考えさせたい。			
視線の冒険 A表現(1)ア(ア) (2)ア(ア) B鑑賞(1)ア(ア) 【共通事項】(1)アイ 「絵画基礎」 ・クロッキー ・アイデアスケッチ 主な学習内容 ○鑑賞作品について、視線の違いや構図の工夫による造形的なよさや美しさ、イメージの変化などを感じ取る。	3	題材の目標 普段とは違った視点から身近な風景を見つめ、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、構図の工夫や効果などを考え、アイデアスケッチに生かし表す。 ○見慣れた物の視点をえて見つめ、主題を生み出し、単純化や強調、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練る。 ○互いの作品を鑑賞し合い、視点をあえることの面白さを味わったり、表現の工夫などを話し合ったりする。	○形の効果や、見上げる、見下ろす、近づくなど視点の位置や枠の中に当てはめる位置による見え方の違いなどを基に、そこから生じる印象の変化を全体のイメージで捉えることを理解している。 ○用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表している。	○視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化を基に主題を生み出し、構図などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ○造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に視点の違いによるイメージの変化などを基に構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
つくって使って味わう工芸 手から手へ受け継ぐ A表現(1)イ(イ) (2)ア(ア)(イ) B鑑賞(1)ア(イ) 【共通事項】(1)アイ 主な学習内容 ○身の回りにある手づくりによる製品を取り上げ、材料の特性や質感などについて鑑賞する。 ○材料の持ち味や、使う場面などから主題を生み出し、アイデアスケッチをする。 ○主題を基に、材料や用具の特性を生かしながら制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。	18	題材の目標 ○材料の特性や機能性を生かしてつくることに興味を持ち、材料のよさや美しさ、使う場面や機能などを基に主題を生み出し、材料や用具の特性を生かし、見通しを持ってデザインし表す。 ○工芸作品や技の素晴らしさに関心を持ち、形や色彩、材料、技法、作風や印象などを捉え、人の手による技の素晴らしさや作品の美しさ、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める。	○材料の特性や質感、それらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や加工方法を基に、材料の持ち味を全体のイメージで捉えることを理解している。 ○材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。	○材料のよさや美しさを基に、使う場面や機能などから主題を生み出し、使いやすさや機能と材料の特性や効果などとの調和を総合的に考え、表現する構想を練っている。 ○使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に材料の特性や機能性などを生かしてつくることを考えて構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
浮世絵っておもしろい (文化の出会いがもたらしたもの) B鑑賞(1)ア(ア) イ(イ) 【共通事項】(1)アイ 【道徳との関連】C(17) 主な学習内容 ○作品を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことを話し合う。 ○出された意見を基に、構図や色彩、線、彫りや摺りの特徴、作風や作品の印象などに着目しながら浮世絵の表現のよさや特性をまとめる。 ○ジャポニズムの表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通した国際理解、美術文化の継承と創造などについて考えたことをまとめ、発表し合う。	1	題材の目標 ○浮世絵のよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。 ○ジャポニズムの表現の特色や時代背景などに関心を持ち、作品の特徴や日本美術の作風がどのように生かされているかなどを捉え、表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通した国際理解、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。	○構図や色彩が感情にもたらす効果や、線、彫りや摺りなどの特徴を基に、作品の印象などを全体のイメージや浮世絵の作風などで捉えることを理解している。	○浮世絵の表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫などや美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ○ジャポニズムの表現の特色や美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に浮世絵やジュボニズムの表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫など、美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
心のイメージを形にすると A表現(1)イ(イ) (2)ア(ア)(イ) B鑑賞(1)ア(イ) 【共通事項】(1)アイ 「絵画基礎」 ・スケッチ ・アイデアスケッチ ・色の基礎知識 主な学習内容 ○心で捉えた感情やイメージなどから主題を生み出す。 ○主題を基に形や色彩、創造的な構成を工夫するなどして表現の構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして表現方法を追求しながら絵や立体に表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、主題をどう表したのかや表現の意図や工夫などについて話し合う。	12	題材の目標 ○感情やイメージなどを形や色彩などで表すことに興味を持ち、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え材料の特性を生かして創造的に絵や立体で表す。	○形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、形や色彩の組み合わせを全体のイメージで捉えることを理解している。 ○絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	○感情やイメージなどの心の世界を基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ○造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感情やイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。